

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ココモネ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 21日		～	2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものやりたいこと、挑戦したい気持ちを大切にしている。	一人一人のやりたい事を、一人一人のペースに合わせて経験、体験できる。	一人一人の気持ちを大切にし、子どもたちの成長やニーズに応じた活動を取り入れ寄り添いながら支援していく。
2	体を思い切り動かして活動できる環境がある。	室内、屋外ともに広さを十分に確保している。	安全に配慮しながら自然の中でのびのびと活動している。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場を設ける。	児童発達支援と放課後等デイサービスの保護者合同での開催となっていて、幅広い交流はできている。 児童発達支援のみ、放課後等デイサービスのみでの交流の場もあれば同年齢での困りごとを共有できる。	同年代のお子さんを持つ保護者同士の交流が図れるように、児童発達支援のみ、放課後等デイサービスのみと分けて実施する。
2	防災訓練、緊急時対応の周知。	実施する曜日を限定してしまうことで、利用日に当てはまらない場合、訓練に参加できるメンバーが限られてしまい、曜日及び参加するメンバーに偏りが出てしまう。	避難訓練（引き渡し訓練）の週を1週間設ける等、すべての利用者に対して実施できるように日程を調整する。
3	けがや体調不良の場合の説明、連絡方法。	個々で活動している事も多いため、スタッフ間で怪我や体調不良の時の対応について周知する。 保護者へのスムーズな連絡を行う。	体温が37.5℃以上、また普段と様子が異なる場合は保護者への連絡を迅速に行う。